

2014(平成 26)年度

愛光幼稚園 事業報告

- 1、施設名 愛光幼稚園
- 2、種別 保育所
- 3、定員 90名
- 4、園長名 三島良子
- 5、職員 常勤 18名・非常勤 7名
- 6、26年度 児童の動向

年齢	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
0才児	12	13	13	13	13	14	16	18	18	18	18	18
1才児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	19
2才児	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18
3才児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	18	18
4才児	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12
5才児	16	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16
合計	97	99	99	98	98	99	100	102	102	101	101	101

7、事業内容

モード・パウラス先生の提唱された、キリストの教え「謙遜・献身・愛」にたちキリスト教保育の年主題「あふれる愛」を基に、すべての子どもにとって最もふさわしい生活の場となり、親(保護者)への支援を大切にし、保育に対する専門性を発揮して、保育者が質の高い保育を提供できるように努力した。地域に根ざし、これからも愛され信頼できる保育園となるよう運営しました。

8、一時保育自主事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1

年度末になると途中入園がない状況もあり、育児につかれて、子育ての援助を必要とする家庭もあった。

9、家庭や地域社会との連携等について

1) 園と家庭との連絡を密にするために、年度当初に年間保育計画や事業計画を配布し又 年報「ぶらんこ」、毎月「愛光だより」、毎週「週報愛光」を発行し、保育や行事に対する各家庭の理解と協力を求めると共に、個々の子どもの様子については必要に応じて連絡帳に記入し、登降園の際(送迎時の対応として)に保護者と直接話し合うよう努めた。保健衛生・危機管理等に関する情報等を随時提供した。

又、出来るだけ保育参観・発表会や遠足・運動会・敬老のつどい・クリスマス等の行事を実施して、園と家庭が連携して子育てにあたるようにした。

- 2) 地域の高齢者と園児の交流事業も年 4 回実施し、高齢者への思いやりの気持ちを培うようにした。また、園開放や校区の子育てネットワークの会を通して、地域の子育て支援にも協力した。今年度から 4 町内のいきいきサロンが開始され、保育園での会場の提供をし園児との交流を行った。
- 3) 地域の異年齢児との交流事業も愛光まつりや運動会・ふれあい広場・夏祭り・毎週の教会学校等を通じて交流を深めた。

◎ 地域活動事業

① 子育て支援事業(招待行事)=園主催

7月7日 七夕の集い. 3月3日ひなまつり会

② 子育てマップ会への参加=校区社協主催

③ 地域へ子育ての集い

校区子育ての集い 6月14日 「親子ふれあい体操」

親子ふれあい広場 11月8日ベビーマッサージ・親子わらべうた・手作りおもちゃ等親子の集いであった。また、備蓄米を保護者と共につくり、試食をして、非常災害を考える良い機会となった。

④ 園開放 月～金 午前 9:30－11:30 利用者は月に 1 人

⑤ 夏祭り 200名程度の参加者

⑥ 運動会 10月4日にフードパルで開催した 卒園児も含め200名以上の参加があった。

⑦ クリスマス 保護者含め 150名以上の参加となる。

⑧ 教会学校 こどもたちへの伝道となり、卒園児も対象にしている。月平均 4名の出席となる

◎ 世代間交流事業

① フォレストお話し会 10/16に出かけ交流した。

② 慈愛園ディーサービス訪問 2/23に交流しました。

③ 高齢者と園児のふれあい広場 (校区社協主催・熊本市の補助事業)

4/25・10/29 当園担当町内 2・4町内 参加者:高齢者 20名
園児職員 33名

④ 敬老の集い(園児祖父母) 9/11 祖父母56名参加

⑤ いきいきサロン 3/3 校区高齢者 16名と園児のふれあい

10、保育活動の実践

子ども達ひとりひとりが自分を出しきって、園生活を楽しみ、自主性を育てるよう努力すると共に、個々の発達段階を理解して、保育者の愛情と経験・知性や技術がひとりひとりの子どもに充分に向けられるよう配慮しながら月々の保育計画を実践し展開した。

課 題	内 容	備 考
① 年間・月間・個人 カリキュラム指導 目標作成	年齢 個人 季節に応じた保育立案作 成保育実施 記録作成	・0歳～5歳
② 親子参加行事	親子のふれあい 周りとの関わり等を 深め、より豊かな体験や交わりを通し て安定した集団生活を楽しむ	・ファミリー遠足・運動会 ・夏祭り・ふれあい広場 ・クリスマス
③ 宗教教育	神さまによってひとりひとは造られ 大切にされていることを通して自分と 同じく人を大切にすることを学ぶ	・合同礼拝は週1回(1歳～5歳)
④ 絵本の貸し出し	絵本を通して親子との会話や関わりを 深め、心豊かな子育てをめざす。	

11、職員会及び園内研修

職員の資質向上となるよう積極的に行われた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	5.22	8.21	3.24	5.22	19.28	16	20	4.18	2.9.22.	21	21	10

(園内研修内容)

- 4/5 「第三者評価受審」について
- 5/10 保育園3園合同研修会 潮谷愛一先生より「法人理念」についての研修
- 6/3 「子どもの歯」について (乳歯・永久歯)について
- 6/25 「AED」について
- 7/5 牧師より職員礼拝で奨励をいただく。「教会の柱・慈愛園・教会とは」
- 8/28 「職員復講・保育課程」について
- 9/16 「運動会」について
- 10/20 「保護者対応」について
- 11/4 「保育の質と保育の振り返り」について
- 12/9 「ケース検討会議」1月入園児の受け入れ 「結節性硬化症」について
- 1/21 「次年度の行事」について・「発表会」について
- 2/21 今年度の反省と次年度の計画について・苦情内容
- 3/10 「感染症」について (容連菌・EBウィルス)

職員の研修について

神水教会牧師による聖書研究会や園内外の研修や研究会にも積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。

① 派遣研修

研修区分	研修内容	研修内容
法人	慈愛園新任職員研修 会計研修	経営者セミナー 労務研修会
キリスト教保育連盟	春期保育者研修会 熊本地区秋季保育者研修会 熊本地区園長会	九州部会園長会 九州部会主任研修 熊本地区職員クリスマス
ルーテル関係	るうてる法人連合会 幼保セミナー	九州セナリオ施設職員研修 るうてる幼保連合会全国研修会
熊本市公私合同研修	乳児保育研修会 人権保育研修会 保育研修 保健衛生研修会 園長主任研修会 衛生研修会	障がい児研修会 保育所入所説明会 保育所給食説明会 保護者支援研修会 熊本市食育推進ネットワーク連絡会 人権虐待保育研修
中央ブロック	保育士研修会 部会連携研修会	園長研修「人事考課」 主任保育士研修
給食部会	調理師研修会 ネットワーク実務者会議 衛生研修会 食の安全セミナー	ブロック給食部会研修会 給食部会全体研修会 給食説明会 食育ネットワーク地域研修会
熊本市保育園連盟関係	看護師研修 運営管理研修会 就学前人権研修 新制度セミナー 子育て支援研修会 リーダー研修会	保育士全体研修会 乳児保育研修会 園長委員会 女性部研修会 保育研究大会 主任保育士研修
熊本県保育園連盟関係	県市合同女性部研修会	
託麻原小学校関係	子育てネットワーク研修会 社協理事研修会 校区園長会	幼小中連携研修会 校区団体長会議 コミセン理事研修
熊本県	幼保連携事業者説明会 福祉サービス苦情解決研修会	社会福祉法人会計 人権啓発セミナー
その他	九州合同研修	上田労務士研修会
熊本市保育園連盟	園長 三島良子は、中央ブロック長として励んだ	

② 園内研修

幼児期の発達心理	・質の高い保育をめざし0歳～5歳の年齢別内容を佐沢智恵子先生より学ぶ
実施日	6/27・9/5・1/21・3/13
(子どもの観察)	困り感のある子どもへの観察・指導
実施日	6/9・8/4・12/25・3/4

12、給食について

- ・ 給食は子どもの発育における重要な部分と位置づけ、栄養のバランス及び季節感のある給食を促すものとし実施した。
- ・ 保育士と調理師が一体となり「食育」に力を入れ家庭での食生活と子どもの食事について関心をもってもらうようにした。
- ・ 2014年度食育計画通りに、媒体等を用いたり、毎日の給食、おやつ時の声掛け当番活動は進める事ができた。
- ・ クッキング計画は計画通りに進み、その時々に応じて対応した。各クラスの活動には、体験できるよう環境を整え、栽培・収穫を積極的に取り入れた。
- ・ 子ども達の怪我も無く、小さいプランターでの栽培物に感謝し、次年度の計画につながれば良いと思う。
- ・ 食器の持ち方、正しい使い方、食事のマナーなど、ただ伝えるのではなく、楽しい雰囲気の中で食事をしながら自然と身につけていけるよう工夫していきたい。
- ・ 食への感謝をもってもらい 又、食べる喜びと共に感謝して食べるよう指導した。
- ・ ランチルームの使い方、異年齢の関わりをもつ工夫など見直していきたい。
- ・ 未満児の計画も特に変更はなく、「乳を飲む」の表現を「ミルク」に変える。

13、安全指導について

- 1)安全に関して、防災計画を作成し、火災・地震・交通と各々について訓練を実施した
- 2)ねらいにある「安全に必要な基本的習慣や態度、挨拶を身につける」というところで、挨拶や返事は、これからも自主的にできるよう、ねらいに加えていきたい。
- 3)登降園時門のカギを子どもが触ることが多かったので、4月に保護者が開閉するよう伝えた。
- 4)登降園時にて、横断歩道を渡らなかつたり、手をつなぐ子どもだけで走ったり、ウロウロする子が多かった。また、降園時、必ず手をつなぐように、また園の前の道路を渡る時、横断歩道を渡ってもらい交通安全には気を付けたい。
- 5)年中・年長が公園への散歩、春や秋にもう少し出かける機会があれば交通ルールの実施も出来て、安全に歩けたのではないかと思う。
- 6)不審者に対するマニュアルづくりと職員間の周知をはかることができた。防犯用カメラは活用するが、更に玄関のインターホンビデオ録画システムで施錠をすることになり安全を強化する。
- 7)園外に出かける時、防犯ベルを毎回携帯できておらず反省する。
- 8)二次避難のとき誘導ロープや散歩車は必要で、おんぶ紐や誘導ロープの購入をして対応した。もう1台の散歩車の収納場所・方法に関しては話し合い、検討中。
- 9)保育環境の整備については、安全点検簿に基づき、毎月又は毎日点検し、必要に応じて補修・整備を行った。
- 10)一階から二階にかけて壁側にも手すりが欲しいとの声があったが建築基準法や消防上安全を考慮してそのままとする。

- 11)非常階段のドアが外開きなので、2階部分でドアを開けると3階から避難して降りてきた子どもたちが通れる十分なスペースが取れず迅速な避難ができないという事があった。
- 12)非常階段に馴れていない小さいクラス(2.3 歳児)は普段の保育で使用する等して、昇降する 機会を取り入れ、馴れておくべきであると反省した。
- 13)紙おむつや粉ミルクを購入したが、本来ならば、備蓄品の確認を早い時期に行い 揃えたり、チェックリストに基づき消費期限や保存方法を定期的を確認するように改善したい。散歩車を 1 台は広げた状態で固定しカバーを取り付けたことにより、迅速な避難が可能となった。

14、 保健衛生について

健康管理の実施状況

種 目	状 況
① 身体測定	毎 月 0 歳 ～ 5 歳 全 員
② 内科健診	嘱託医 すどう・きたの医院 須藤先生
	実施日・・・4/18・4/25・10/22・10/24 全 員 異 常 な し
	当 日 受 診 で き な か っ た 園 児 は 他 の 日 に 受 診 完 了
③ 蟻虫検査	6/20 全 員 異 常 な し。
④ 歯科検診	嘱託医 木村歯科クリニック 木村院長 検診日6/2
	当 日 受 診 で き な か っ た 園 児 は 他 の 日 に 受 診 完 了
⑤ 口腔衛生	開始より6年目熊本市中央保健福祉センターの指導
フッ素洗口	対象児・・・4歳児・5歳児 月～金 毎日

1)園児には、年間を通して手洗い・うがいの習慣を身につけるように指導した。また、適度な水分補給や紫外線・PM2.5の情報と対応についてはマニュアルに沿って適切にできた。

2)職員及び非常勤職員についても、日赤健康管理センター及び成人病予防協会を通して定期健康診断を実施、又、毎月、検便も実施、園児への健康安全について配慮した。また、健全な心身のためには、職員の自己管理による日常的な健康状態の維持の努力が大切であり、日常的な生活リズムを整え、常に良好な状態で勤務するのは、職員の義務であるので、施設長としても絶えず注視し、アドバイスを怠らず、また、相談にのる姿勢をもって対応した。

3)厚生労働省の保育所ガイドラインに沿って園児の感染症に対応した。関係機関への報告が義務付けられ、拡大を防ぐため保護者への協力を依頼した。

また、近隣の施設等と情報交換を行い防げることがあれば積極的に取り組んだ。

4)AED についてしっかりと園内研修で学ぶ事ができた。

5)年間を通して、配慮事項や保健業務内容は重複する事項が多かったのでまとめた。

15. 実習生の受け入れについて

実習生の受け入れに関しては、下記の県内各学校より委託され、保育士や看護師、社会福祉等をめざす、人材の育成に協力すると共に、高校生の体験学習の場も提供した。

白川中学校・ 帯山中学校・ 熊本学園大学社会福祉学科・尚綱短期大学
九州ルーテル学院大学・専門学校 湖東カレッジ学院

16. 福祉サービス苦情解決について

<第三者委員> 湖東学園大学非常勤講師)
託麻原校区主任児童委員

<愛光幼稚園> 三島良子 (苦情解決責任者)
川久保彰子 (苦情解決受付担当者)

意見や要望等の報告・・・・・・・・3件

第三者委員へ 保育園の現状と苦情内容を報告

- 1、朝の9時に隣家の方より直接ピアノの音がうるさい。窓を閉めてほしい。
- 2、 2歳児の長男を母親が抱いて登園、泣いて母親から離れずにいたので、登園時の早出勤員が、5歳児の長女に「泣いてるからお願いね」といった言葉に不満を持たれての苦情。
- 3、子ども同士の喧嘩やふざけに相手の子どもが「噛みつくような子どもではないのだが」とかばうような言い方に対する保育者の対応への不満と不信感そして、年長になって入園して、気になることが続き、園の様子がわからない事もあり余計に不信感。
直ぐに対応できることは改善し努めていくようにした。保護者へも現状や経過報告を伝える機会として、総会の折説明した。また、第三者委員を招いて行事の時に保護者へ口答で伝達していただいた。

2014 年度 活動報告

愛光幼稚園

月	日	行 事	付 記
4 月	5	入園・進級式	新入園児 18 名と保護者を迎える
		新年度説明会・クラス懇談	全保護者対象の保護者総会を行う。
	9	体育教室始まり	(すみれ・ひかり組) 毎週水曜日
	18	幼年消防クラブ編成式	中央消防署の指導による幼年消防クラブ結成式を行う (すみれ・ひかり組)
	25	校区高齢者と園児のふれあいひろば	すみれ・ひかり組 29 名と校区の高齢者 16 名が下 油田公園まで散歩して一緒に食事する
	24	誕生会	毎月定例行事 第三木曜日
	18・25	健康診断	全園児参加(毎月第四木曜日)園医による内科健診
	17	園舎 1 年点検	理事長をはじめ設計士・小竹組による一年点検であっ た
	18	避難訓練	(毎月第四火曜日)
21	イースター礼拝	復活を園児と共に礼拝を守る	
5 月	7	音楽教室始まり	(ゆり組) 毎週火曜日
	10	ファミリー遠足 塚原古墳	園児 66 名 保護者 85 名 職員 17 名 小学生 15 名 バス 3 台で移動
	27	総合防火訓練	新園舎になっての総合的な内容と点検も踏まえて避 難訓練をする
	13	ひかり組クッキング	ホットケーキづくり
	14	教会学校始まり(毎週水曜日)	ひかり組 18 名と小学生
	28	ゆり組クッキング	おにぎりづくり
6 月	2	歯科検診	園医による歯科検診と紙芝居
	7	第一回愛光会役員会	愛光会保護者役員 18 名参加
	9	花の日礼拝・慰問	礼拝後 東水前寺交番などへ花束にカードを添えて 訪問する
	11	保育参観	保育参観後 ばら組クラス懇談・給食試食 9 名参加
	13		育児講座 講師 佐澤智恵子氏 演題「ユニバーサル デザイン」 15 名参加
	12	もも組クラス懇談と給食試食	保護者 14 名参加
	13	ひかり組クラス懇談と給食試食	保護者 13 名参加
	14	子育ての集い	テーマ「親子ふれあい体操」校区の親子対象
	19	第三者委員会	第三者委員の 2 名に園の状況を報告し、助言を頂く。
	24	市監査	熊本市役所の指導監査課より 2 名が来園
30	交通安全教室	熊本市生活安全課より指導していただく (ゆり・すみれ・ひかり組参加)	

7月	1	プール開き	事故のないようプールを囲んで礼拝する
	3	すみれ組クラス懇談	保護者 9名参加
	7	七夕のつどい	未就園児を招いて七夕の飾りを囲んで集まりをする
	22・25	すみれ・ひかり組プール教室	すみれ・ひかり組 29名参加
	28	愛光まつり	夏の夕べにさかなつりコーナー、輪投げなどを家族と楽しむ
8月	3	お泊り保育(ひかり組)	ひかり組17名参加、金峰山少年自然の家にて
	11	敬老の日のつどい	園児祖父母56名を招き、交流した後、茶話会をする
9月	11	ゆり組クラス懇談	保護者14名参加
	9-11	帯山中学生職場体験4名	帯山中学生3名のナイストライ
	13	第二回愛光会役員会	愛光保護者役員会でふれあい広場の話合い
	17	ゆり組クッキング	お月見団子
	17-19	白川中学生職場体験3名	白川中学生3名のナイストライ
	24	食品衛生管理検査	保健センターより「HACCP」の検査を受ける
10月	4	運動会	食品交流会館フードパルにて園児100名と職員名
	10	プラネタリウム見学(ひかり組)	ひかり組17名熊本博物館へ行く
	16	フォレスト交流会(ひかり組)	老健施設フォレストにてひかり組18名参加
	21	芋掘り遠足	貸切バスで広安愛児園へ行き。いもほりを楽しむ(3歳児以上)46名と職員6名
	22・24	健康診断	全園児が園医による内科健診
	29	校区高齢者と園児のふれあい広場	校区の4つの保育園児と高齢者の方との交流と食事を共にする
	31	げんきっすフェスティバル	学園大学祭へすみれ・ひかり組29名参加する
11月	4	ボランティア清掃活動の日	三角公園を清掃奉仕する
	8	ふれあいひろば	ベビーマッサージ・わらべうたあそび・親子体操等楽しい親子の集い。
	10-21	たてわり保育(ゆり組以上)	異年齢のグループで保育する
	10	感謝祭・幼児祝福礼拝	家庭より果物・野菜を持ち寄り、感謝の礼拝をする。また、角本牧師・ポーマン牧師より祝福をいただく
	11	木の学習会	「ペペペらん」さんの読み聞かせをすみり・ひかり組が聞く
	14	立田山散策(ひかり組)	ひかり組17名参加 JRに乗り立田口で降りて立田山まで歩く
12月	3	教会学校クリスマス	教会学校の小学科8名と幼稚科18名は園内をキャロリングして各クラスの子どもたちの前で賛美歌を歌う
	4	ひかり組クラス懇談	保護者15名参加

	6	第三回愛光会役員会	愛光保護者役員会の反省会
	11	第三者委員会	第三者委員の2名に園の状況を報告し、助言を頂く。
	20	園クリスマス	神水教会の牧師を迎えて、礼拝と祝会を行う。
同窓会クリスマス		同窓生30名と元職員4名を迎え、クリスマスを祝う。	
1月	8	新年合同礼拝	全職員と全園児一緒に新年のあいさつをして、礼拝を守る
	14-28	ひかり組スケート教室	ひかり組15名参加、アスパにてスケートを楽しむ
	29	総合防火訓練	中央消防署の立会いの下で実施した
2月	2	愛光幼稚園創立記念礼拝	牧師と元園長先生と共に創立67周年の記念礼拝を守る
	3	豆まき	未就園児を招いて豆まきをする
	10・18	第三者評価受審	評価機関「だれにも音楽祭」に第三者評価を受ける
	17	なかよし交流会	託麻原小より招きを受けてひかり組16名が参加
	21	発表会 育児講座	ひかり組団子汁作り 発表会後に育児講座ママさんプラスバンド『ONE PEACE』の演奏。
		23	神水子ども礼拝（ひかり組）
	慈愛園ディサービス慰問		神水教会で礼拝をまもった後、ディサービスに慰問。
26	ひかり組クッキング	鰯の手開き・団子汁作り	
3月	3	ひなまつり会	未就園児を招いてひなまつりを祝う 地域母子7組
	3	いきいきサロン	校区4町内の高齢者16名の集まり
	6	ひかり組天翔台登山	ひかり組16名がJRに乗って三角駅で降りた後、歩いて天翔台登山をした
	10	幼年消防クラブ修了式	ひかり組16名に中央消防署より幼年消防クラブ修了証書が手渡される
	14	第四回愛光会役員会・懇親会	愛光保護者役員会の会計報告終了後は、懇親会20名参加する。
	26	おわかれ会	ひかり組16名で企画した集会後、3歳児以上でバイキング式で昼食を楽しむ
	28	卒園式	ひかり組16名が卒園する。